

AIリテラシーを学び、AIの上手な活用能力を身に着ける授業は

教育長＝豊かな心を育み、未来を切り拓く力を育んでいきます

問

ＡＩなくして、現代社会が成り立たない時代になりました。ＡＩが人間の心という内面にも子どもたちの成長にも大きな影響を与えていることは誰もが予想しています。ＡＩが子供たちの成長にプラスになるような授業を、学校で実施されることを強く望みます。

2023年6月議会での「学校教育への生成ＡＩの影響と授業への導入の考え」は「ＡＩに関する質問から3年が経ちました。現在の文部科学省のＡＩに関する指導方針、及び具体的な授業での活用ＡＩリテラシーを学びつつ、その上手な活用能力を身に着け児童生徒、子どもたちの自身の心の中を含め、脳力が向上するような授業をしていますか。

教育長

文部科学省では、生成

ＡＩの急速な普及と技術の進展を踏まえ、令和6年12月に「初等中等教育段階における生成ＡＩの利活用に関するガイドライン」を改訂し公表しています。

このガイドラインは、学校現場が混乱することなく、生成ＡＩの仕組みや利便性、リスクの理解など、児童生徒が適切に生成ＡＩと向き合い活用できるように基本的な方針と実務的なポイントを具体的に示したものです。

これからの時代、生成ＡＩは単なる便利な道具にとどまらず、子どもたちの思考を深め、引き出す「良きパートナー」になり得ると認識しています。各学校の実践では、「ＡＩの回答が必ずしも正しくない」ということを前提にあえて既に知っている事象について質問させ情報、真偽を自ら検証す

る「批判的思考力」(クリティカルシンキング)を養っています。さらにＡＩを「客観的な一つの意見を持つ対話相手」として扱い、調べ学習のサポートや自分に合った学習方法を主体的に相談する相手としても活用しています。指導では、ＡＩへの過度な依存による思考停止を防止することが極めて重要であり、まずは「自力で考える時間」を重視し、最終的な判断は人間が行うという主体的な姿勢を徹底しているところです。今後は、教員の研修やＡＩを活用した授業の手法について検討するとともに、ＡＩを賢く使いこなすことで、子どもたちの言語能力や創造力、そして豊かな心を育み、未来を切り拓く力を育んでいきます。

【その他の質問】

「選ばれる町」を目指し住民の生活環境整備は「南会津町水道ビジョン」の合理化で廃止される水資源による企業誘致は



AIの過度な活用による思考停止を禁止しながら、自分自身の思考力を高めることが重要